

編集後記：今年の梅雨明けは、少なくとも関東においては例年に無くはっきりと感ずることができました。しかしその後は、うだるような暑さの日々が連日続きました。夏の終わりもようやく近づいてきましたが、読者の皆さまの体調はお変りないでしょうか。

「天気」では、2009年6月号以降「新用語解説」を充実させてまいりました。その間、個人的に非常に勉強になった記事が多々ありました。研究や業務において更に一段上のレベルを目指そうとする場合、最新の知見を学び自分のものとすることは必要不可欠であると思います。しかし、多くの学問同様、気象学の最先端の知見をフォローするためには、多かれ少なかれ英

語で書かれた文献にあたる必要があります。しかも、その作業は時に多くの労力がかかるものです。「新用語解説」は、当然ながら日本語で書かれており、加えて分野外の人にも理解しやすいように丁寧に書かれております。このような有用な記事を活用しない手は無い、というものです。「天気」編集委員会では、今後も「新用語解説」を一層充実させていくことを考えております。また、新用語の候補は随時募集しております。ご自身の理解の深化のために、「天気」を是非積極的にご利用下さい。

(庭野匡思)